

自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報版)

1 社会実験概要

① 自転車通行空間確保に取り組む目的

- 歩道における歩行者等の安全確保
- 自転車利用者の安全確保
- 自転車利用者の快適性向上

② 社会実験の目的

- 自転車通行位置を明示することの効果、影響、整備手法の妥当性等の検証

③ 実施路線

- 市道菰口町・高洲町14号線
(都市計画道路 吉前線)

延長：約1,500m
 区間：菰口町1丁目～馬見塚町
 幅員等：道路全幅員16m、2車線
 規制速度：40km/h



選定理由：

- ・小学生の通学路であり、小学生と自転車との接触が起こり得る路線
- ・歩道と車道が分離され、ある程度(1.5m程度)の幅の路肩がある路線
- ・車道の規制速度が40km/h以下の路線
- ・自転車通行空間の整備を近年実施していない路線
- ・自転車ネットワークとして優先的な位置付けを与える予定の路線

自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報版)

1 社会実験概要

④ 整備形態

- 路肩部分に青いラインを引き、自転車のピクトグラム（視覚記号）や矢印等を設置
- 交差点では矢羽根を設置し、交差点内の自転車横断帯は撤去

※今回の取組みは、自転車本来の通行位置を示すものであり、自転車専用通行帯として新たな規制は行っていない
※「歩道内自転車通行可」の規制はそのままとし、歩道内も従来通り徐行で自転車通行可能



⑤ 実施期間

○平成25年11月8日～11月30日

- ・11月8日（金）に吉田方校区にて開催される交通安全パレードにあわせ施工
- ・社会実験では、交通量やビデオ調査、地域住民や学生を対象にアンケートを行い、整備の効果や影響等を検証



自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報版)

2 整備形態と安全対策・・・単路部の基本方針

単路部の基本方針

- 車道の路肩部分に青いラインやピクトグラム、矢印等を設置し、自転車通行位置を明示
- 併せて、ルール等を記載した看板を設置し、自転車利用者に「車道通行が原則」などのルールを遵守した通行を促す

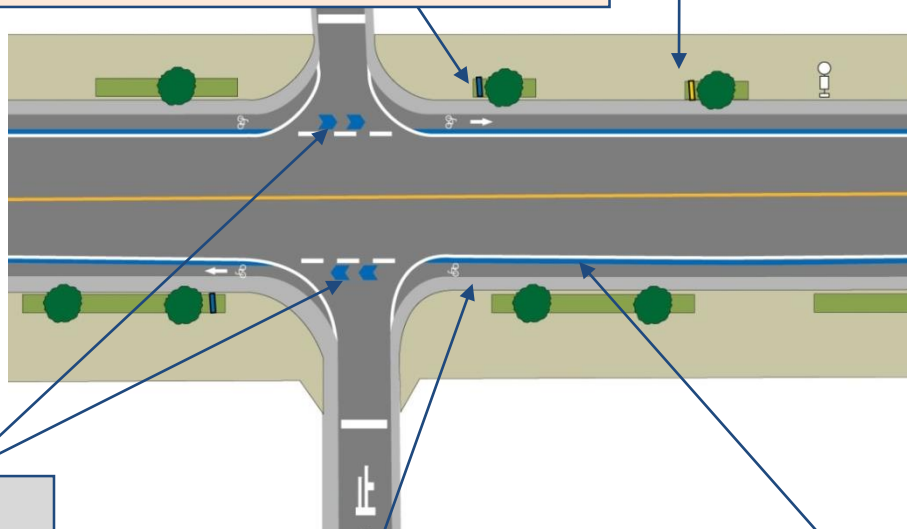


自転車通行位置案内看板

自転車に通行空間の存在を示すとともに、自転車が車道を通ることを自動車に対して示し、注意喚起を促す

バス停注意喚起看板

自転車にバス停の存在を示し注意喚起を促すとともに、ルールの周知を行う



矢羽根

生活道路から入ってくる自動車に自転車が通行することを知らせ、注意喚起を促す

ピクトグラム(視覚記号)

自転車の通行空間、通行方向を示す

路面の一部カラー化

着色により、自転車通行空間を示す

自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報版)

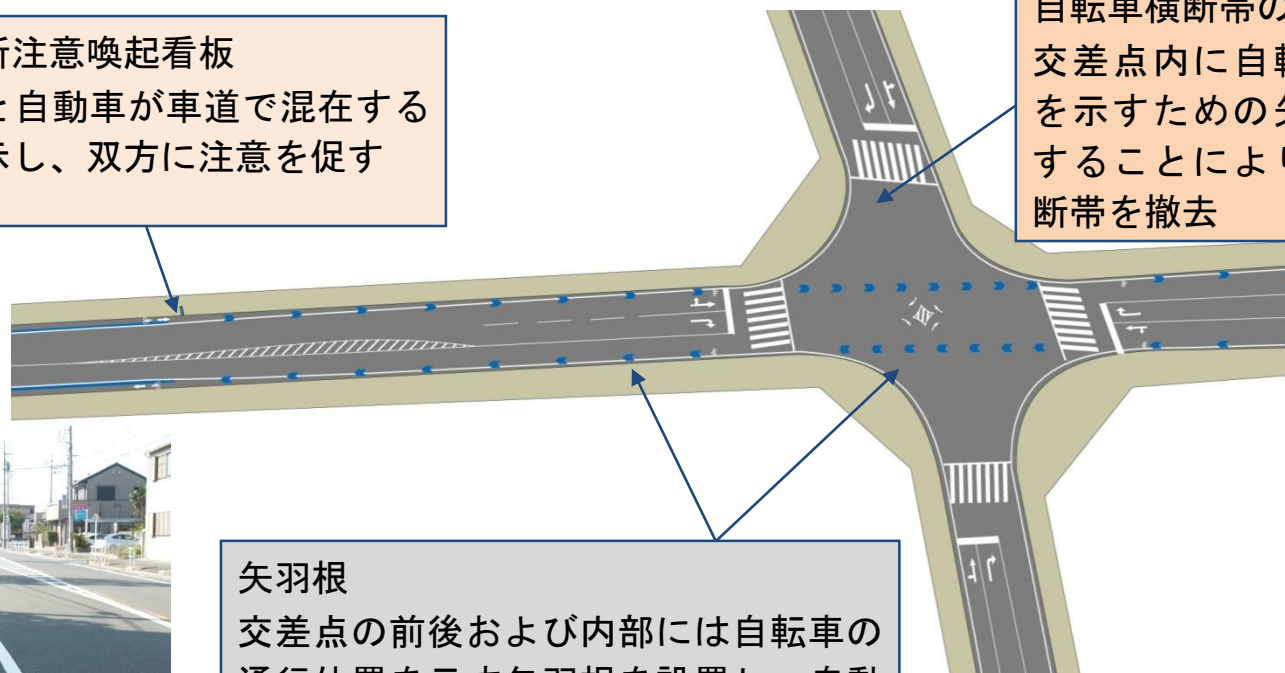
2 整備形態と安全対策・・・交差点部の基本方針

交差点部の基本方針

- 右折レーンがあるため路肩部分が狭まり自転車通行位置を明示できない交差点部分において、自転車と自動車の一定の整序化を図る必要があることから、左直車線を自動車と共有（車道混在）させ、自転車横断帯を通らず自動車と同様に直線的に通行できるように矢羽根を設置
- 併せて、注意喚起看板の設置により、自転車と自動車に対して共有（車道混在）であることを示し、注意を喚起

混在箇所注意喚起看板
自転車と自動車が車道で混在することを示し、双方に注意を促す

自転車横断帯の消去
交差点内に自転車通行位置を示すための矢羽根を設置することにより、自転車横断帯を撤去



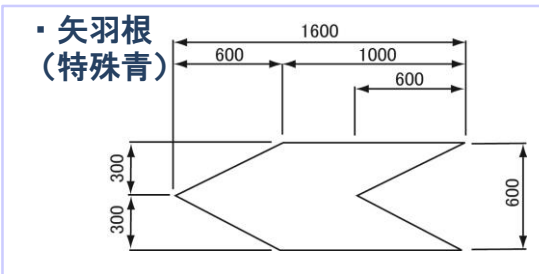
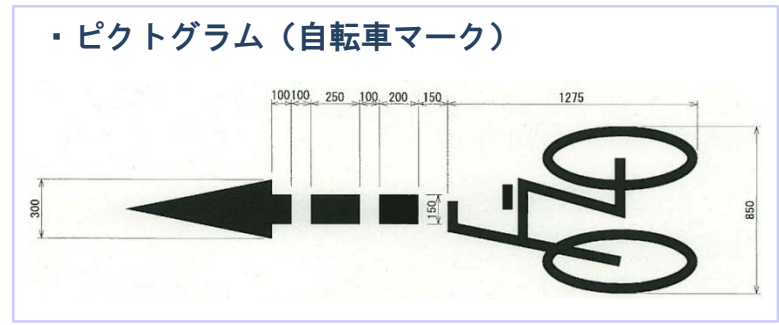
矢羽根
交差点の前後および内部には自転車の通行位置を示す矢羽根を設置し、自動車と混在であることを示す



自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報版)

2 整備形態と安全対策・・・ピクトグラム等

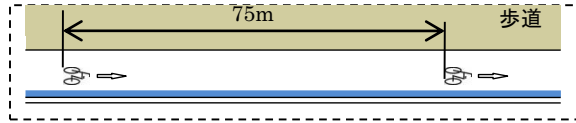
① ピクトグラム等の規格



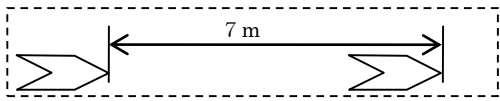
・実線（特殊青）
W=150

② ピクトグラム等の設置間隔 ※間隔は目安であり、実際の現場の施工状況によって異なる場合がある

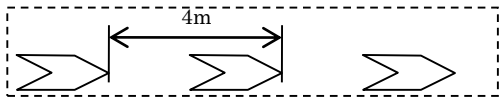
○矢印・ピクトグラム（自転車マーク）
交差点間の起終点に加え、おおむね75mごとに
1箇所設置
※交差点前後の混在区間には、起終点及び中間の3箇所設置。



○矢羽根（交差点前後の混在区間）
約7.0mの間隔で設置



○矢羽根（交差点内）
約4.0mの間隔で設置







自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報版)

2 整備形態と安全対策・・・注意喚起看板



看板設置の様子

名称	A) 通行空間 設置案内	B) 混在箇所 注意喚起	C) バス停 注意喚起	D) 自転車通行 位置案内
看板 図柄				
対象	自転車 自動車	自転車 自動車	自転車	自転車 自動車
設置 箇所	対象路線の 起終点に設置	共有（車道混 在）部分の手前 に設置	バス停車前に設 置	路線上に一定間 隔で設置
サイズ	1500mm×300mm	1500mm×300mm	1500mm×300mm	1500mm×300mm

自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報版)

自転車通行位置明示後の自転車の通行状況



交差点部



単路部

自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報版)

3 社会実験等の周知

① 概要

○広報誌により社会実験の実施について周知を行うとともに、チラシ配布やポスター設置等により社会実験の実施や自転車ルール等の周知を行った。

② 方法

○以下の方法により周知を行った。

取組み	内容	場所
広報とよはしへの掲載	社会実験の開始に先立ち、広報とよはし10月15日号にて概要を周知	全市
社会実験小学生用チラシ配布	吉田方小学校の児童に対し、社会実験の内容を伝えるチラシを配布 ・歩道を注意して走行するよう促す内容 ・保護者に向けた意識啓発	吉田方小学校
社会実験一般用チラシ配布・回覧	吉田方中学校、豊橋西高校の生徒に対し、社会実験の内容を伝えるチラシを配布。吉田方校区住民には回覧 ・社会実験の概要説明・通行方法・安全五則などの内容	吉田方中学校（配布） 豊橋西高校（配布） 吉田方校区（回覧）
商業施設・公共施設等と連携した交通安全の広報	社会実験対象路線沿道の店舗等に社会実験の内容を示すポスターを設置	ドミー渡津店 JA豊橋産直プラザ吉田方 豊橋吉川郵便局 吉田方校区市民館 吉田方地区市民館 等

自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報版)

3 社会実験等の周知(小学生チラシ)

道路に自転車が走る位置を示します

道路の左はしにマークをつけて、自転車が走る場所をわかりやすくし、使いやすい道路をつくっていきます。そのため、こうかをしらべるための実験をしますが、小学生のみなさんは、いままでどおり歩道を安全に通ってください。

自転車のときは、車道側をゆっくり通ります。

おとなの自転車が走る場所

歩くときは建物側に寄って歩きます。

ここでやるよ!

実験期間
11月8日から
11月30日まで

実験が終わったあともマークは残ります。

自転車での走り方

- 小学生のみなさんは歩道のはしを通ります。歩く人に気をつけてゆっくり通しましょう。
スピードを出すと危ないよ
- 細いみちのところでは、いちどまってみぎ、ひだり、うしろもよく見ます。
まがってくる車にも気をつけましょう。
- おともだちといっしょのときはたてにならんで走ります。2人のりや横にならんで走ってはいけません。
- 信号を守り、おうだん歩道からおりてわたります。信号は歩く人と同じ信号を見ます。
- かならずヘルメットをかぶりましょう。まっすぐにかぶり、あごのひもをしっかりとしめましょう。大人の人に見てもらいましょう。

保護者の方へ

子どもの自転車が歩行者にぶつかり、歩行者に怪我をさせる事故が発生しています。ある事故では、自転車に乗っていた小学生側に約9,500万円の損害賠償請求の判決が出ています。自転車にのるときは十分注意して、車道側をゆっくり通るようお願い下さい。

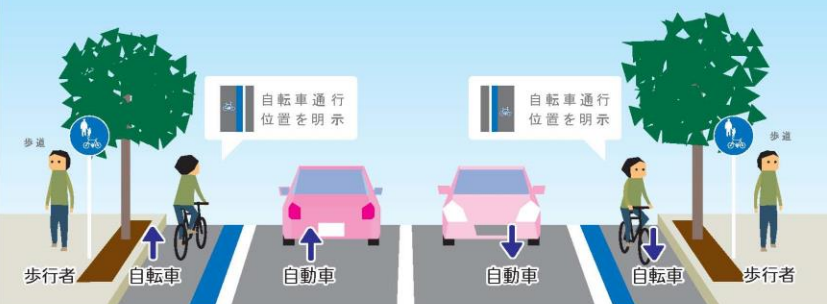
豊橋市・豊橋警察署

お問い合わせ先 豊橋市都市計画部都市交通課
 でんわ 0532-51-2621 FAX 0532-56-5108 mail toshikotsu@city.toyohashi.lg.jp

自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報版)

3 社会実験等の周知 (一般チラシ)

車道内に自転車の通行位置を示します!!



車道内に自転車通行位置を示すことにより、自転車が利用しやすい環境を整備していきます。
 今回その整備効果を把握する社会実験を行います。
 (従来通り、歩道を通することもできます)

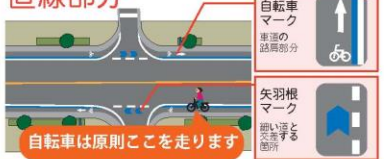
社会実験実施期間

11月8日～11月30日

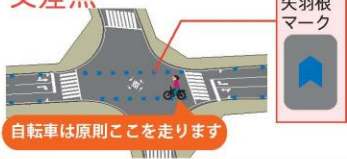
社会実験は右図の路線で行います。
 実施期間中は、交通量調査やアンケートを行い、整備の効果を測定します。
 皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。
 (なお、通行位置の明示は実験実施期間後も残ります)



直線部分



交差点



自転車走行の原則!

- ★自転車は、車道通行が原則です。
- ★車道は左側通行です。逆走は禁止です。
- ★交差点は、二段階右折で渡りましょう。
- ★停車しているバスの追い越しや、無理なすり抜けはしてはいけません。
- ★ほかの自転車と横に並んで走る「並走」は禁止です。
- ★歩道は歩行者優先です。通行する場合は徐行してください。

自転車の通行方法

- 1 自転車が走る位置**
 路肩の青い線・自転車のマークや矢羽根マークを目印に車道の左端を走ります。車と同じ方向で走ります。逆走や並走は禁止です。
- 2 交差点の渡り方**
 右へ渡るときは、図のように二段階で右折します。車道走行時は、横断歩道を利用せず、そのまま直進します。
 自動車のように交差点の真ん中を右折することはできません。
- 3 歩道を通行する場合**
 従来通り、歩道を通行することもできます。歩行者が優先ですので、自転車は車道寄りを行きます。

こんな時は・・・?

- 1 バス停**
 バスが停車している場合、バスの後ろで待機します。無理な追い越しやすり抜けは危険です。
- 2 駐停車車両の追い越し**
 駐停車車両をよける場合、十分注意して走行してください。
- 3 曲がり角**
 交差点では、左折自動車に注意してください。

自動車の方へ

- 自動車の路上駐車は禁止です。
- 自転車とは十分な間隔をとって走行してください。
- 交差点では、自転車を巻き込まないように、注意してください。

自転車安全利用五則

- 1 自転車は、車道が原則 歩道は例外**
 ※13歳未満と、70歳以上は歩道を通行することができます。
 ※それ以外の方でも、自転車通行可の標識のある場合、歩道を通行することができます。
- 2 車道は左側を通行 (逆走禁止)**
- 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行**
- 4 安全ルールを守る**
 二人乗り禁止 【罰則】2万円以下の罰金又は科料
 並進禁止 【罰則】2万円以下の罰金又は科料
 傘差し運転等禁止 【罰則】5万円以下の罰金
 携帯電話やイヤホン等の使用禁止 【罰則】5万円以下の罰金
 交差点での一時停止と安全確認 【罰則】5万円以下の罰金又は5万円以下の罰金
 夜間はライトを点灯 【罰則】5万円以下の罰金
 飲酒運転禁止 【罰則】5年以下の懲役又は100万円以下の罰金
- 5 子どもはヘルメットを着用**
 幼児・児童の保護責任者の方は、衝撃でヘルメットが飛ばないようにしっかりとあごひもを締めてあげてください。

豊橋市 豊橋警察署
 お問い合わせ先 豊橋市都市計画部都市交通課
 電話 0532-51-2621 FAX 0532-56-5108 mail toshikotsu@city.toyohashi.lg.jp

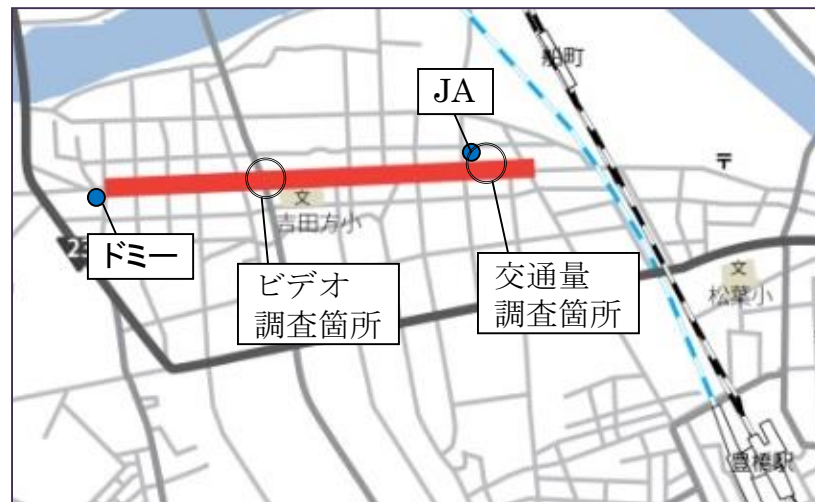
3. 検証内容

①交通量調査

- …JA豊橋産直プラザ吉田方付近にて
7時～19時まで実施
事前調査:平成24年10月26日(金)
事後調査:平成25年11月22日(金)

②ビデオ調査(交差点挙動調査)

- …吉川町交差点付近にて7時～9時、
15～17時まで実施
交差点付近の各種交通の挙動を調査
事前調査:平成25年10月10日(木)
事後調査:平成25年11月22日(金)



③地域住民アンケート

- …実験の道路沿線の吉川町(1,035世帯)、JA豊橋産直プラザ吉田方及びドミー渡津店の来店者(400名)に配布。
配付:11月8日～15日(直接)、回収:11月30日(郵送回収)

④学生アンケート

- …吉田方中学校(472名)及び豊橋西高校(吉田方中学校の卒業生の1年生50名)に配布
配付:11月中旬(直接)、回収:11月下旬(直接)

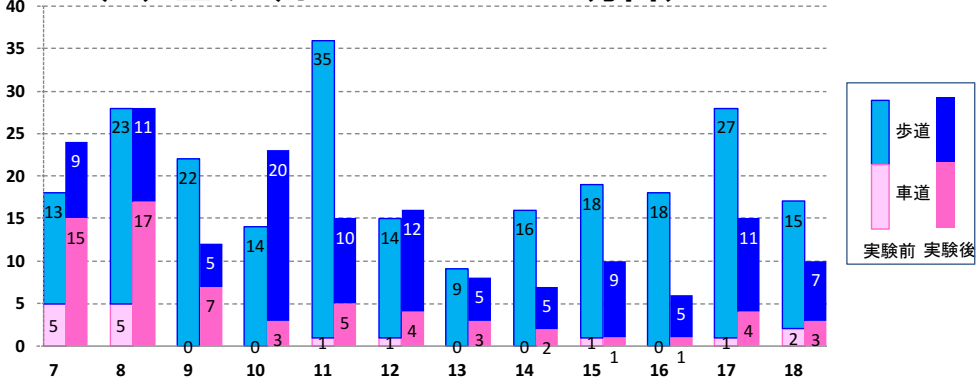
自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報版)

①交通量調査結果

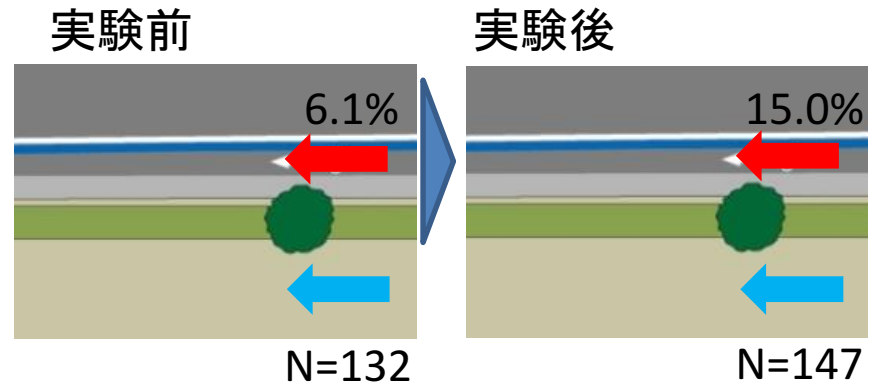
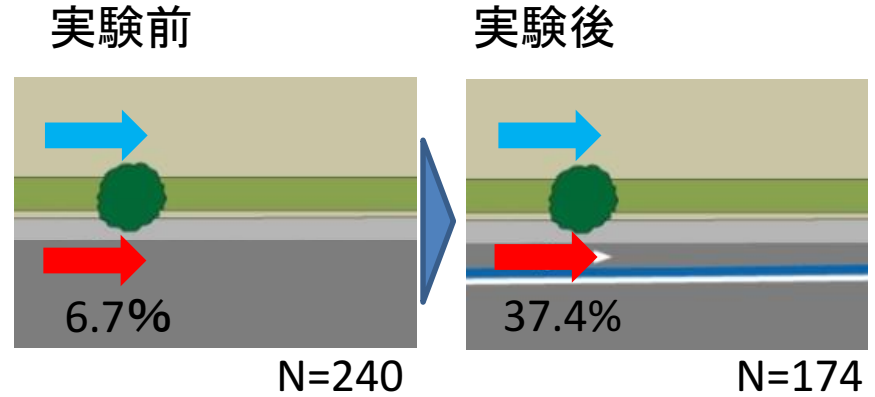
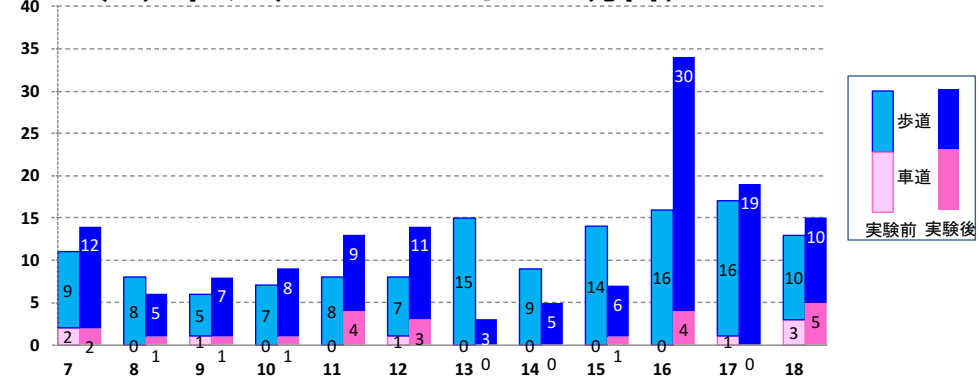
【単路部の通行状況（左側通行時の車道通行の割合）】

事前調査:平成24年10月26日(金)
事後調査:平成25年11月22日(金)

(1) 上り (ドミー ⇒ JA方面)



(2) 下り (JA ⇒ ドミー方面)



自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報版)

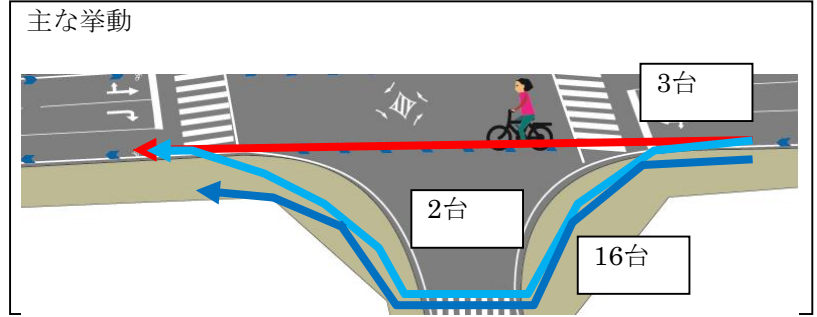
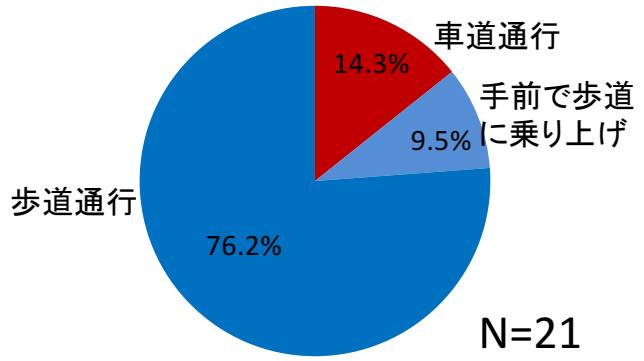
②ビデオ調査 (交差点挙動調査) 結果

【交差点部の通行状況 (左側通行時の交差点の通行方法)】

事前調査: 平成25年10月10日(木)
事後調査: 平成25年11月22日(金)

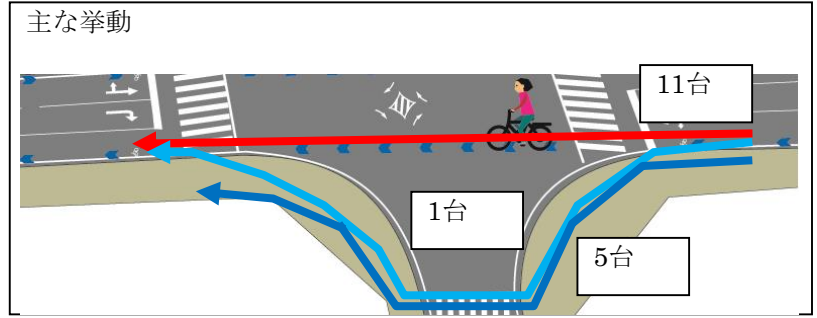
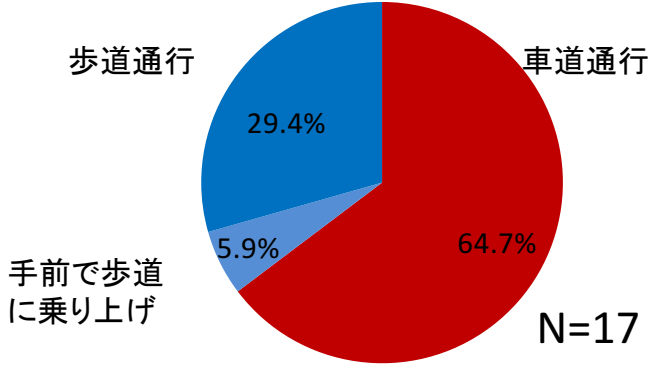
(1) 実験前

下り (JA ⇒ ドミー方面)



(2) 実験後

下り (JA ⇒ ドミー方面)

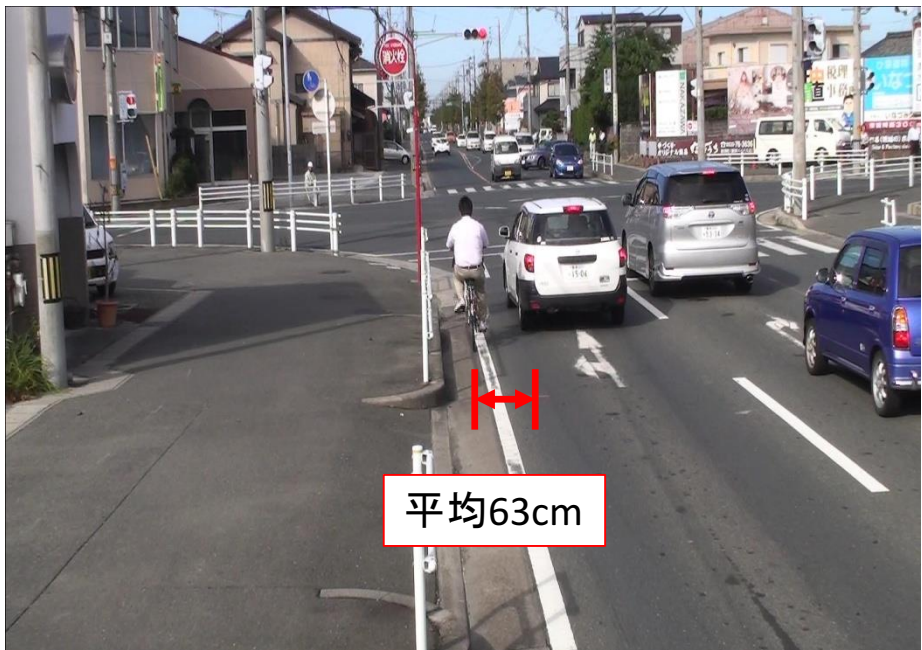


自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報版)

②ビデオ調査 (交差点挙動調査) 結果

【自転車と自動車の距離】

(1) 実験前



(2) 実験後



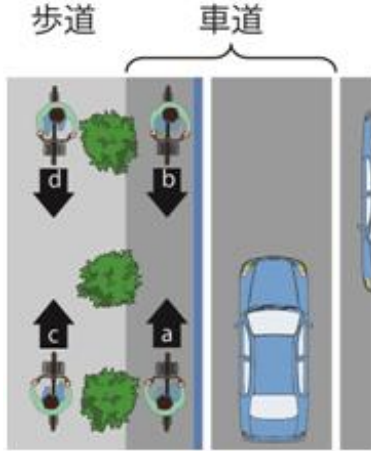
自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報版)

③地域住民アンケート結果

【自転車利用者 道路上で主に通行する位置】

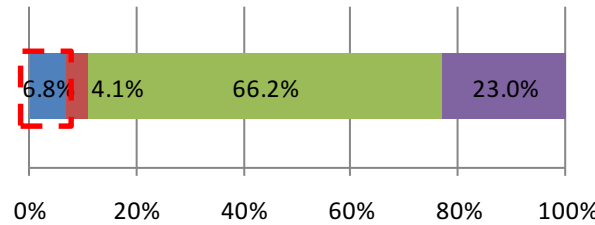
整備前後の通行位置の変化

○直線部



車道左側を通行すると回答した方が 7%⇒46% に増加

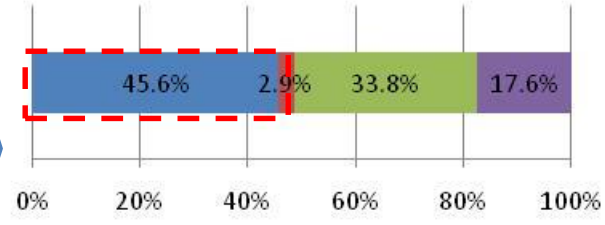
(整備前)



■ a.車道(順走) ■ b.車道(逆送)
■ c.歩道(自動車と同方向) ■ d.歩道(自動車と逆方向)

N=57

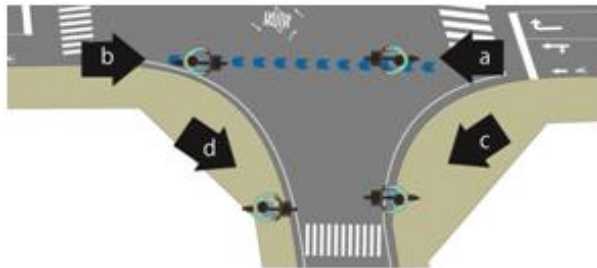
(整備後)



■ a.車道(順走) ■ b.車道(逆送)
■ c.歩道(自動車と同方向) ■ d.歩道(自動車と逆方向)

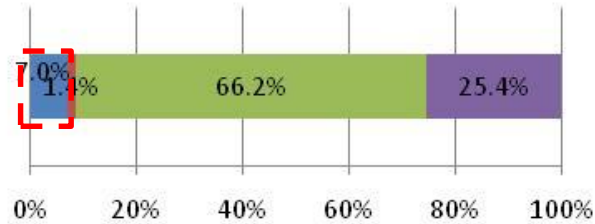
N=57

○交差点部



車道左側(交差点内)を通行すると回答した方が 7%⇒23% に増加

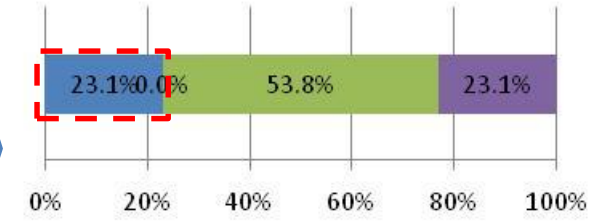
(整備前)



■ a.車道(順走) ■ b.車道(逆送)
■ c.歩道(自動車と同方向) ■ d.歩道(自動車と逆方向)

N=57

(整備後)



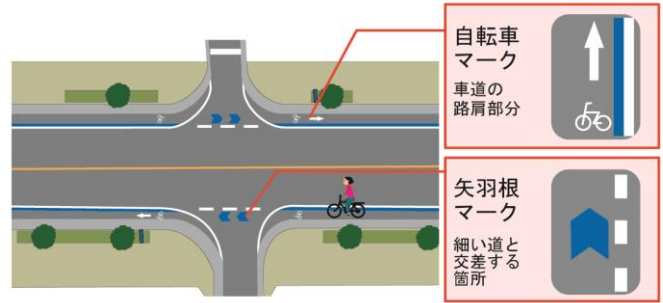
■ a.車道(順走) ■ b.車道(逆送)
■ c.歩道(自動車と同方向) ■ d.歩道(自動車と逆方向)

N=57

自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報値)

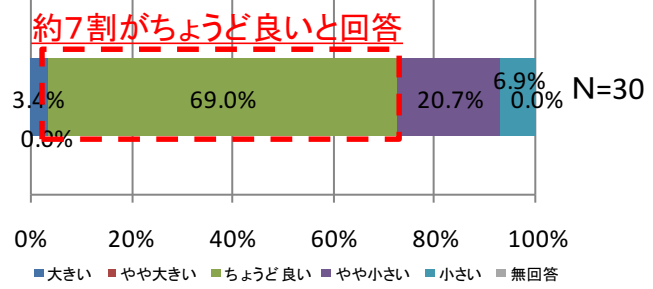
③地域住民アンケート結果

【自転車利用者 直線部のライン・自転車マークの評価】

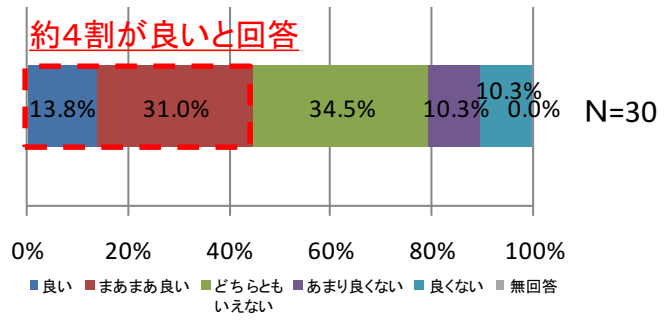


※直線部もしくは交差点部を車道通行する自転車を対象

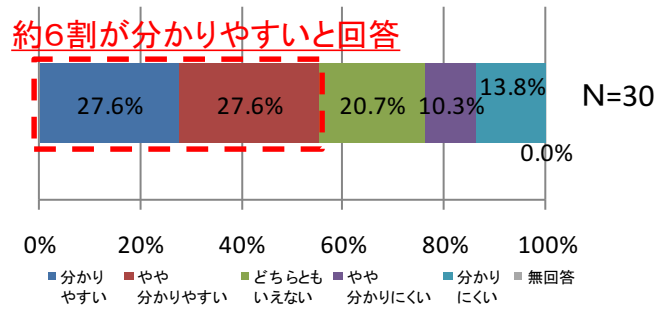
自転車マークの大きさ



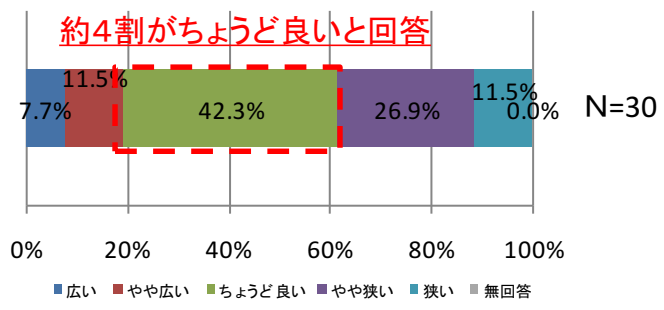
青く着色したラインの色



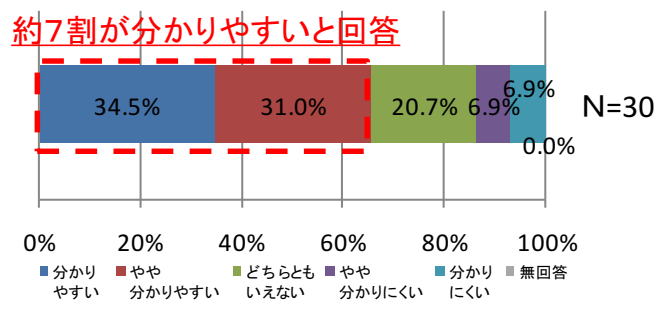
進行方向の分かりやすさ



青く着色したラインの幅



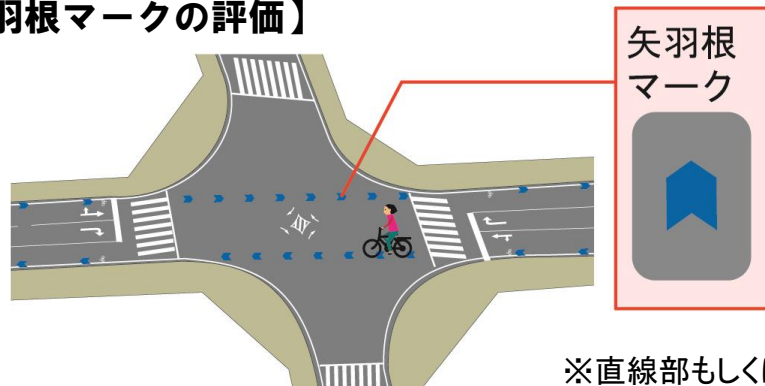
自転車マークの形



自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報版)

③地域住民アンケート結果

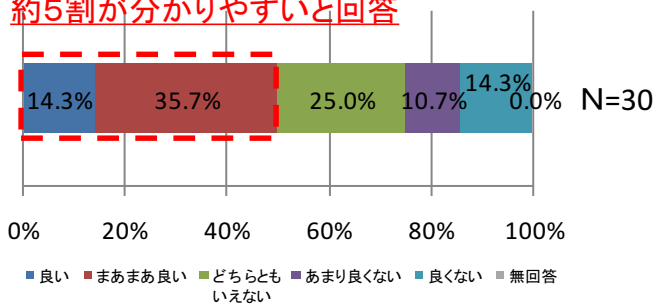
【自転車利用者 交差点部の矢羽根マークの評価】



※直線部もしくは交差点部を車道通行する自転車を対象

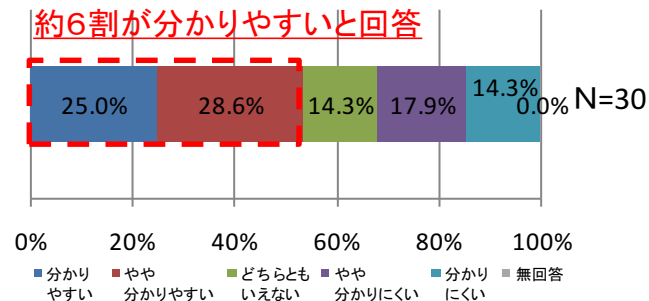
矢羽根マークの色

約5割が分かりやすいと回答



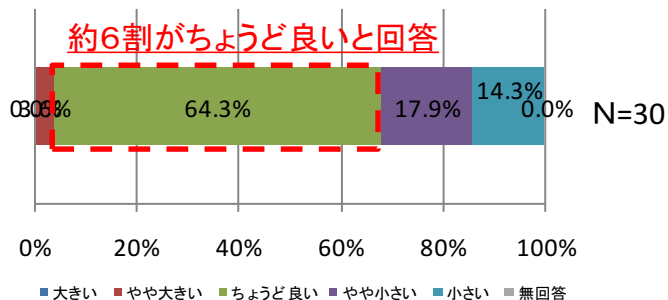
進行方向の分かりやすさ

約6割が分かりやすいと回答



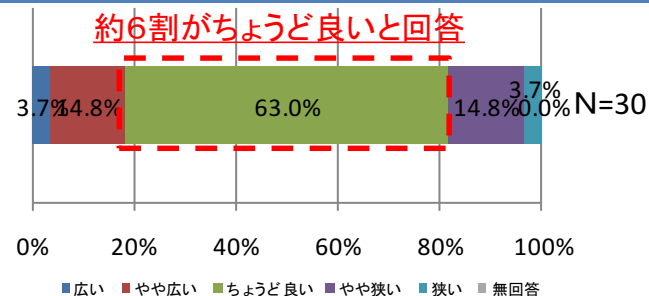
矢羽根マークの大きさ

約6割がちょうど良いと回答



矢羽根マークの設置間隔

約6割がちょうど良いと回答



自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報版)

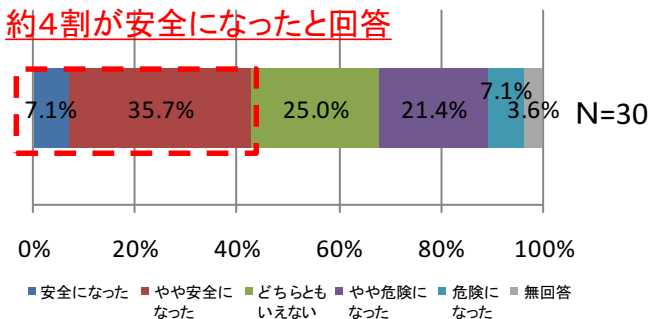
③地域住民アンケート結果

【自転車利用者 整備後の安全性・快適性の評価】※直線部もしくは交差点部を車道通行する自転車を対象

直線部(交差点以外の場所)

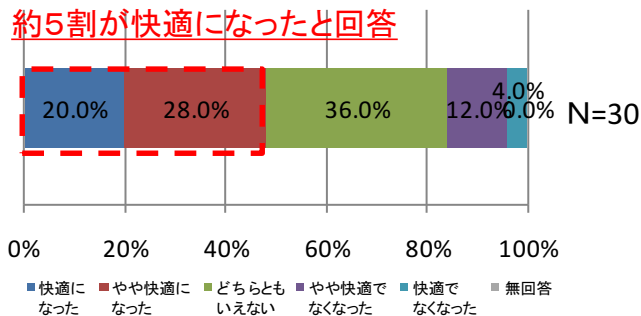
○安全性

約4割が安全になったと回答



○快適性

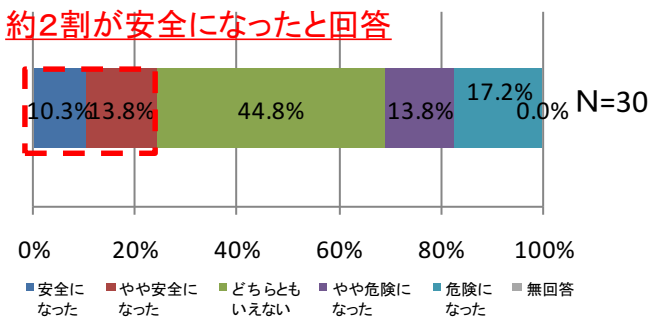
約5割が快適になったと回答



交差点部

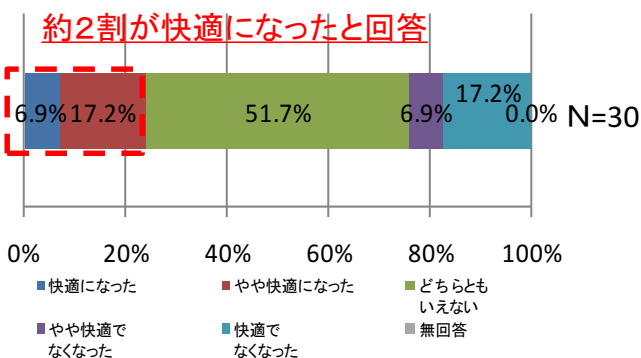
○安全性

約2割が安全になったと回答



○快適性

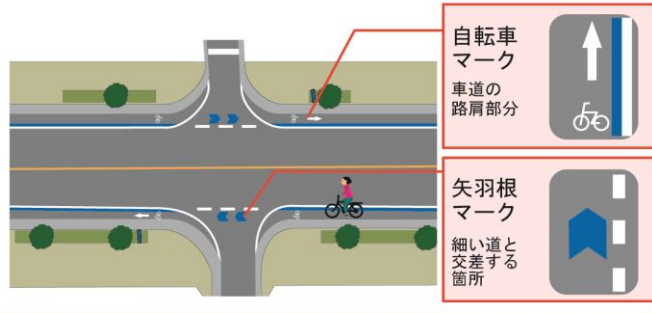
約2割が快適になったと回答



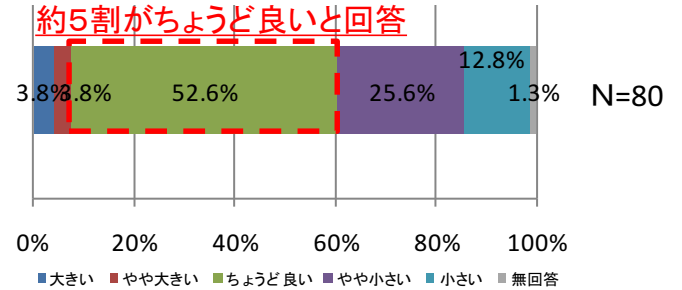
自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報版)

③地域住民アンケート結果

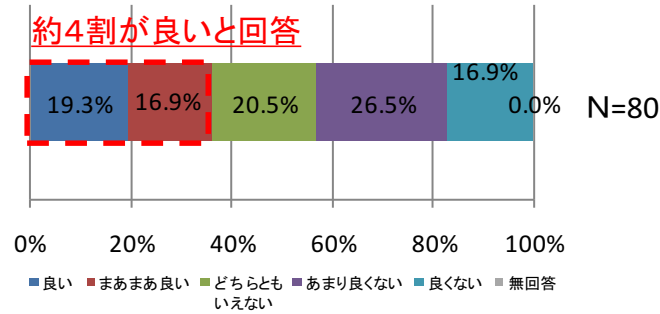
【自動車利用者 直線部のライン・自転車マークの評価】



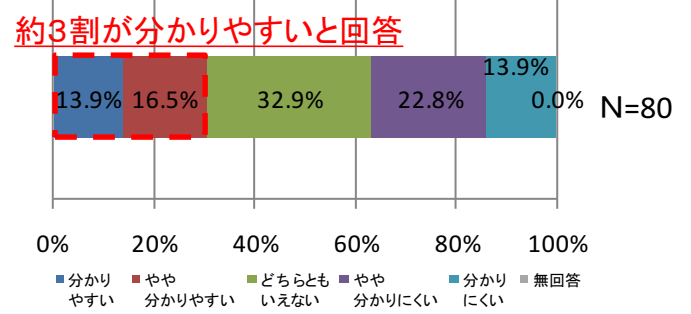
自転車マークの大きさ



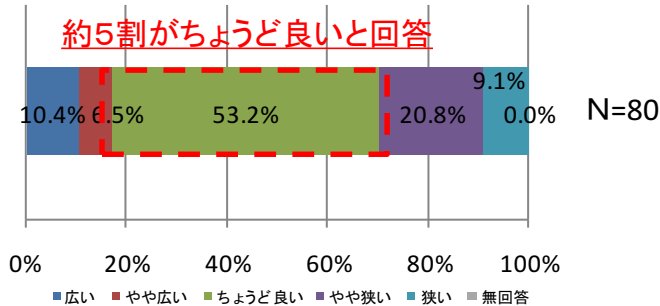
青く着色したラインの色



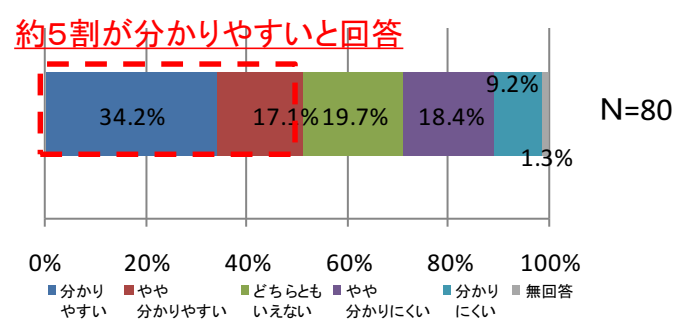
進行方向の分かりやすさ



青く着色したラインの幅



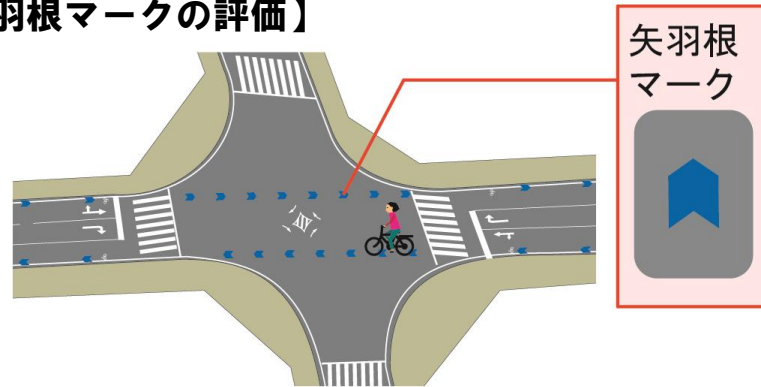
自転車マークの形



自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報版)

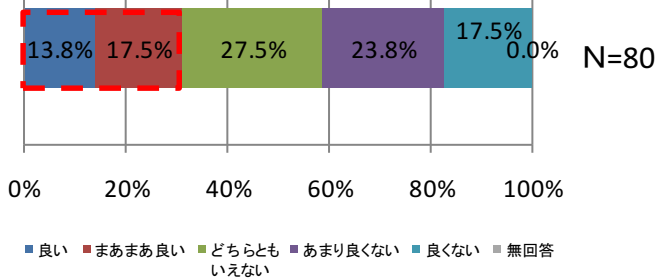
③地域住民アンケート結果

【自動車利用者 交差点部の矢羽根マークの評価】



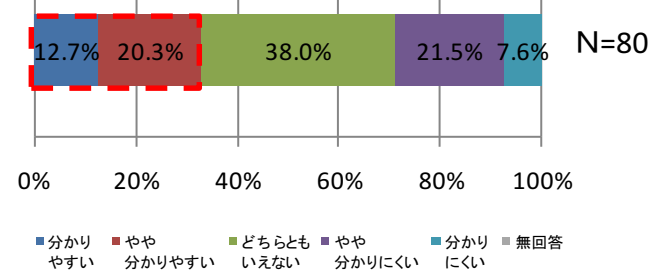
矢羽根マークの色

約3割が分かりやすいと回答



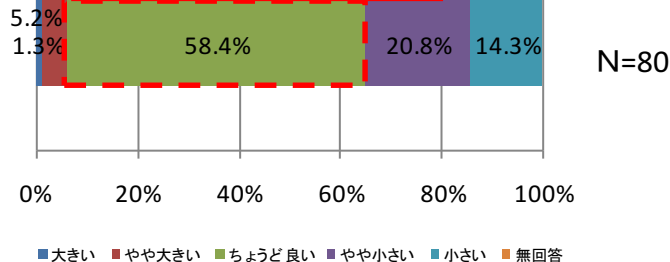
進行方向の分かりやすさ

約3割が分かりやすいと回答



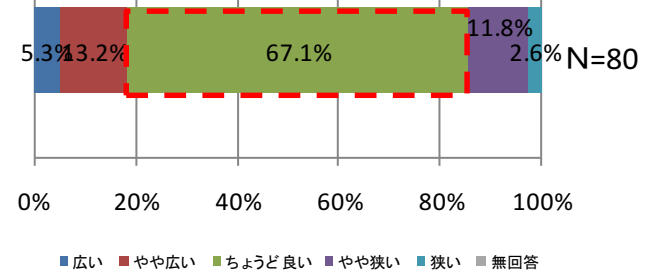
矢羽根マークの大きさ

約6割がちょうど良いと回答



矢羽根マークの設置間隔

約7割がちょうど良いと回答



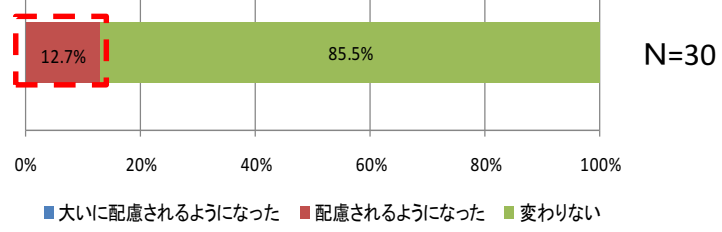
自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報版)

③地域住民アンケート結果

整備後、自動車が自転車を配慮するようになったか？

【自転車利用者】

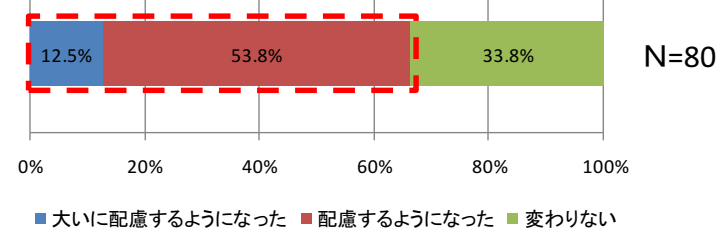
約1割が整備後、自動車から配慮されるようになったと回答



※直線部もしくは交差点部を車道通行する自転車を対象

【自動車利用者】

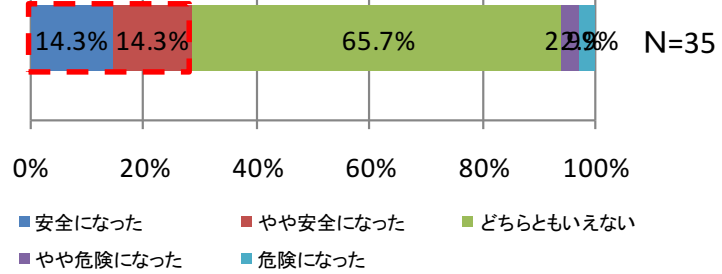
約7割が整備後、自転車を配慮するようになったと回答



整備後、歩道は安全に通行できるようになりましたか？

【歩行者】

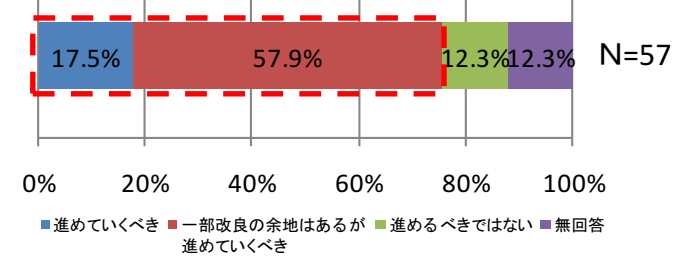
約3割が整備後、歩道が安全になったと回答



安全性向上に向けた今回の取組みを他の場所でも進めていくべきだと思いますか？

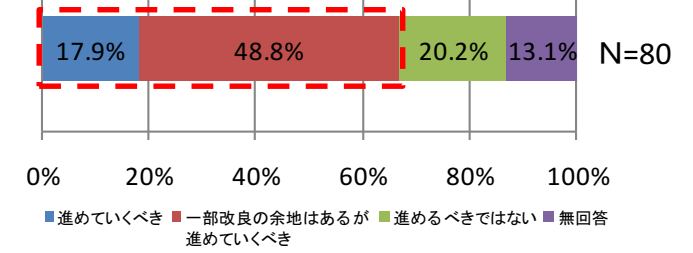
【自転車利用者】

約8割が今回の取組みを進めていくべきと回答



【自動車利用者】

約7割が今回の取組みを進めていくべきと回答



自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報版)

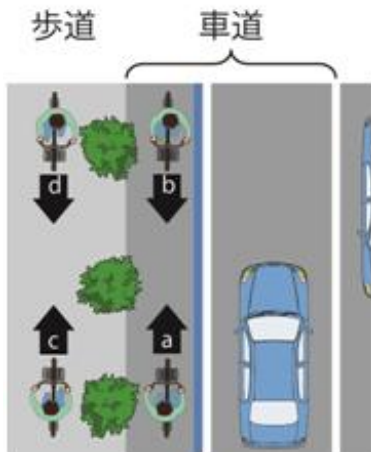
④学生アンケート結果

【自転車利用者 道路上で主に通行する位置】

学生合計

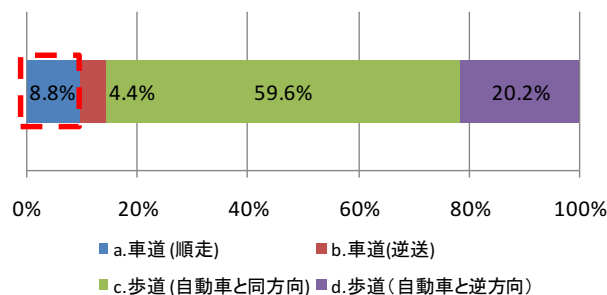
整備前後の通行位置の変化

○直線部



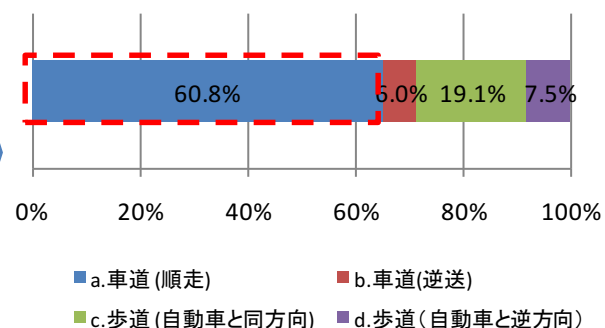
直線部における車道の順走方向が 9%⇒61% に増加

(整備前)



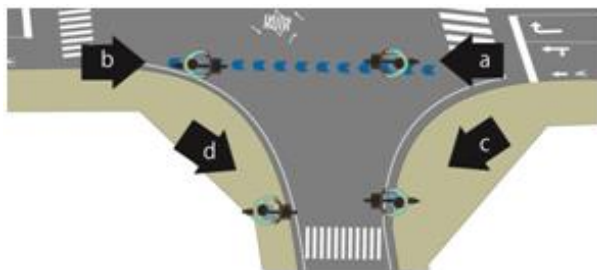
N=199

(整備後)

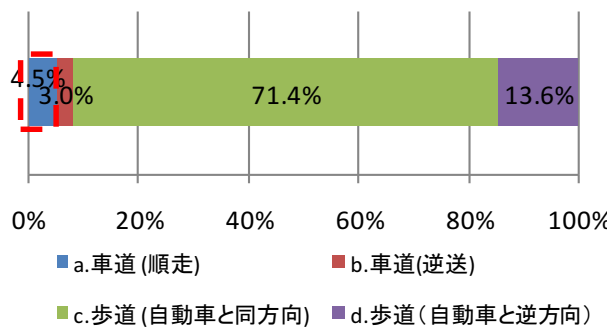


N=199

○交差点部

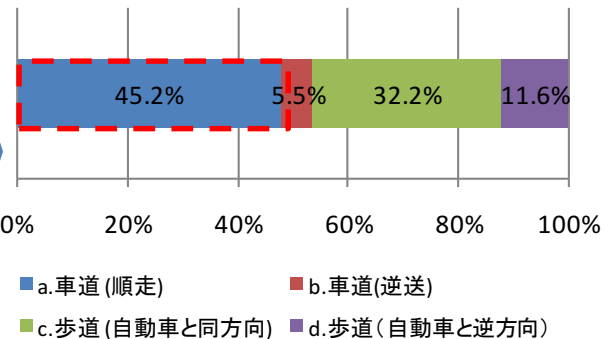


(整備前)



N=199

(整備後)

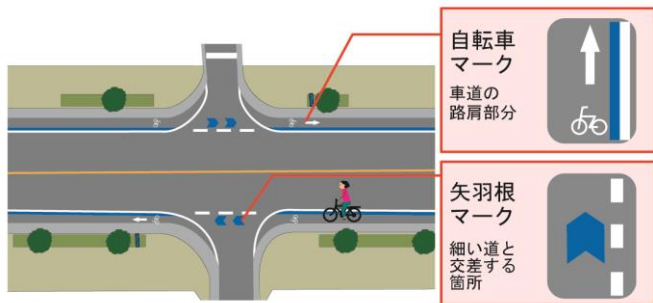


N=199

自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報値)

④学生アンケート結果

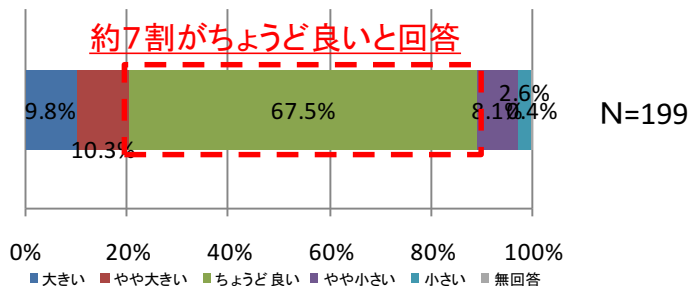
【自転車利用者 直線部のライン・自転車マークの評価】



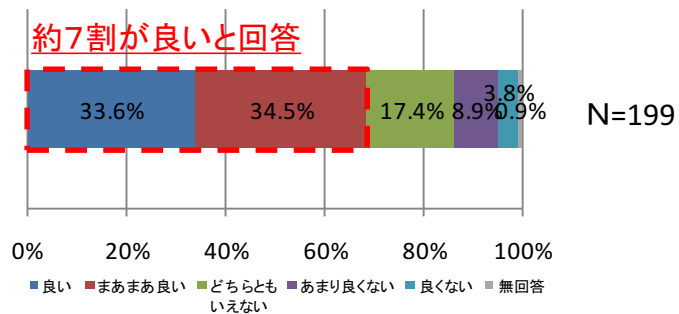
※直線部もしくは交差点部を車道通行する自転車を対象

学生合計

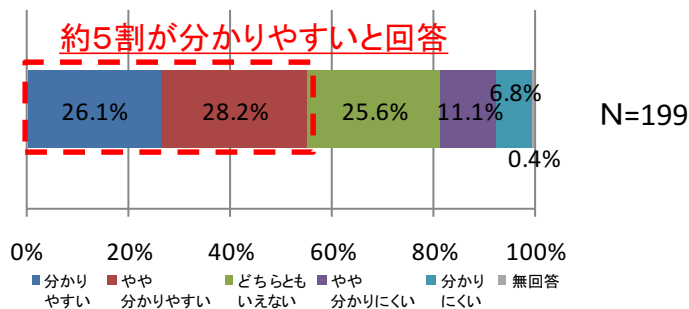
自転車マークの大きさ



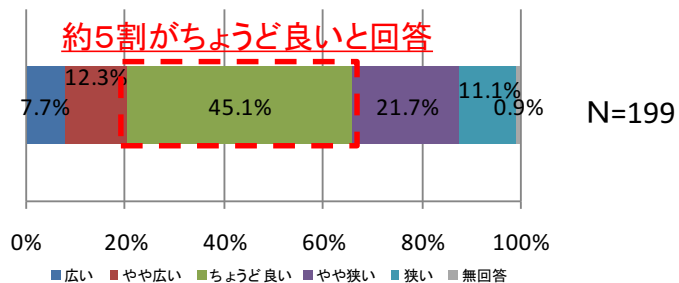
青く着色したラインの色



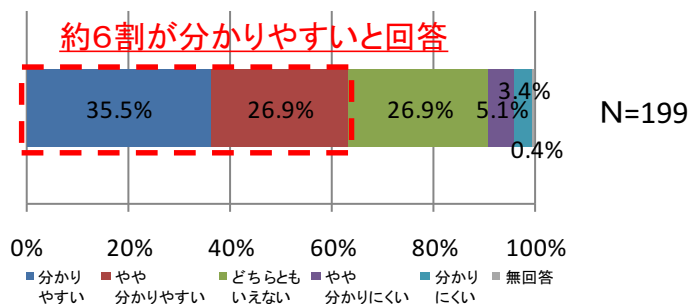
進行方向の分かりやすさ



青く着色したラインの幅



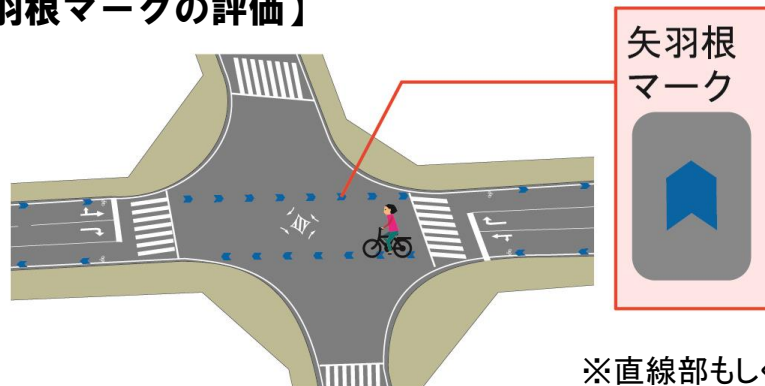
自転車マークの形



自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報版)

④学生アンケート結果

【自転車利用者 交差点部の矢羽根マークの評価】

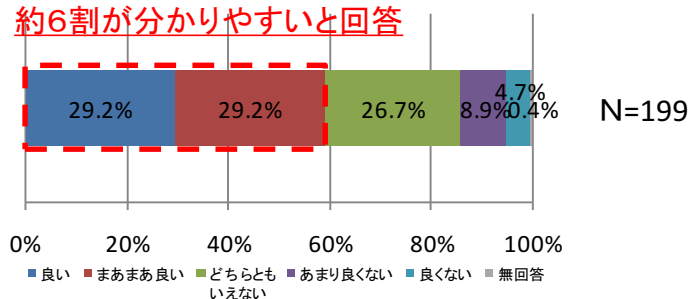


学生合計

※直線部もしくは交差点部を車道通行する自転車を対象

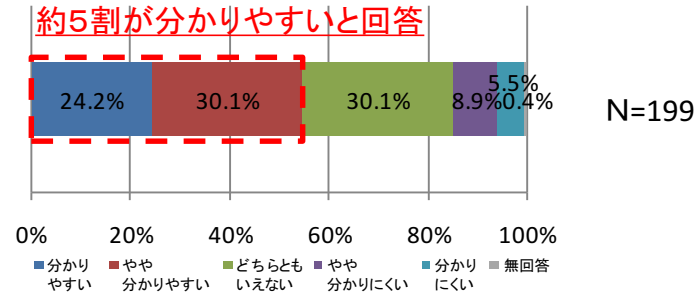
矢羽根マークの色

約6割が分かりやすいと回答



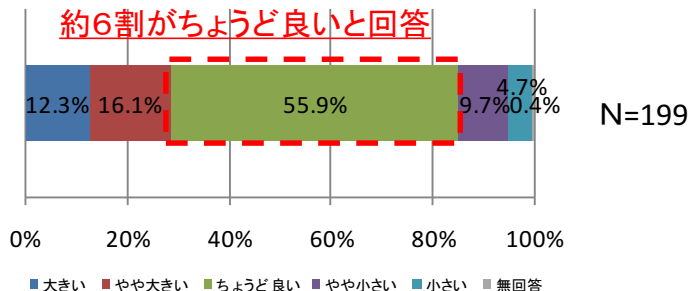
進行方向の分かりやすさ

約5割が分かりやすいと回答



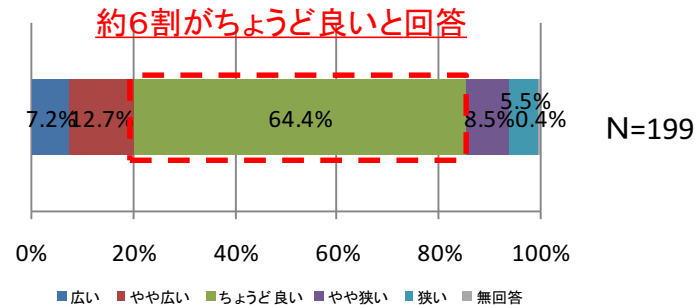
矢羽根マークの大きさ

約6割がちょうど良いと回答



矢羽根マークの設置間隔

約6割がちょうど良いと回答



自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報版)

④学生アンケート結果

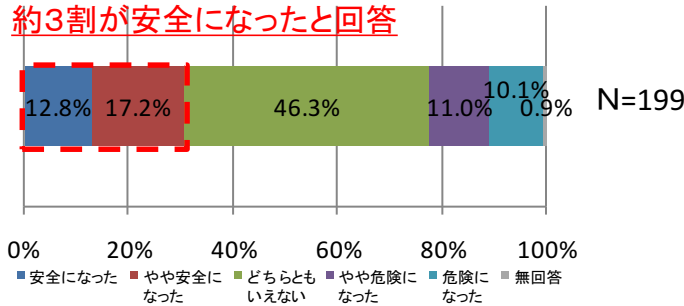
【自転車利用者 整備後の安全性・快適性の評価】

学生合計

直線部(交差点以外の場所)

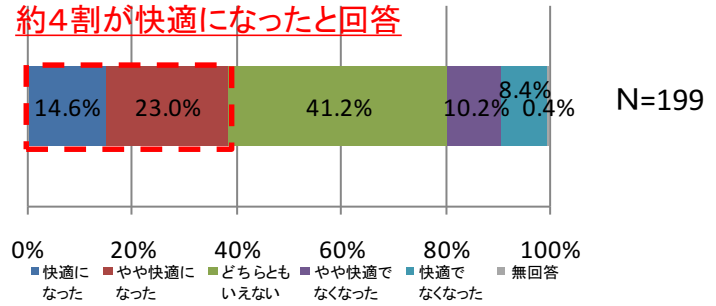
○安全性

約3割が安全になったと回答



○快適性

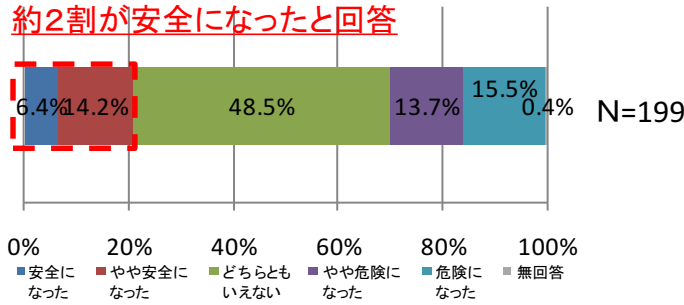
約4割が快適になったと回答



交差点部

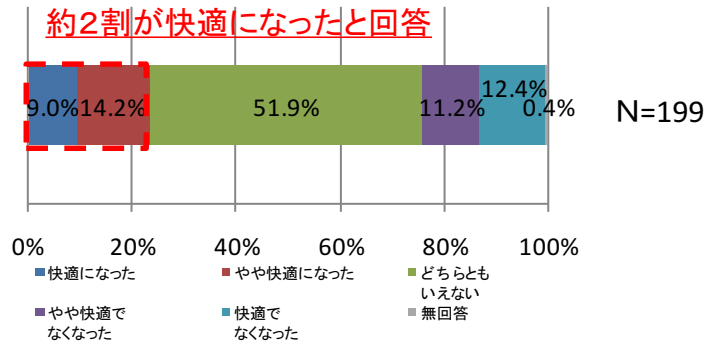
○安全性

約2割が安全になったと回答



○快適性

約2割が快適になったと回答



※直線部もしくは交差点部を車道通行する自転車を対象

自転車通行空間確保社会実験検証結果(速報版)

④学生アンケート結果

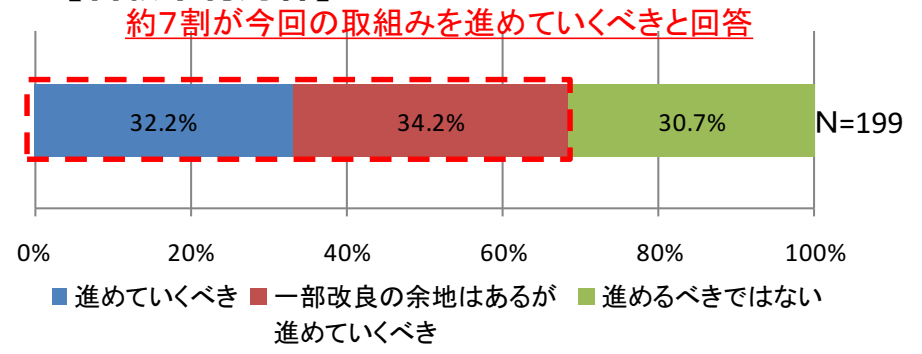
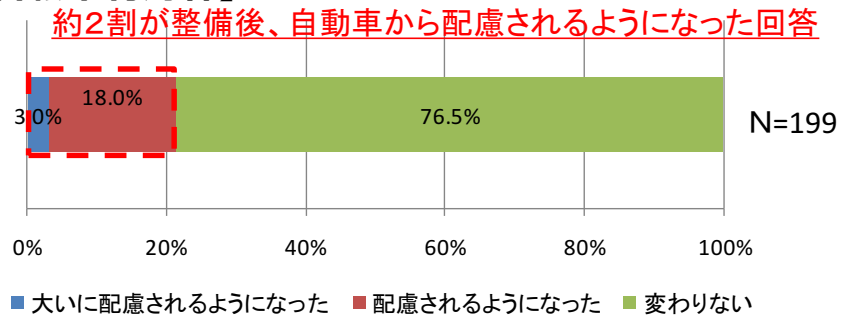
学生合計

整備後、自動車が自転車を配慮するようになったか？

安全性向上に向けた今回の取組みを他の場所でも進めていくべきだと思いますか？

【自転車利用者】

【自転車利用者】



整備後、歩道は安全に通行できるようになりましたか？

【歩行者】

